

△産業宣教 永遠のことを実際に実践した産業人 (I 列 18:1-15)	△レムナント伝道学 レムナントが見るべき永遠の弟子 (II 列 6:8-23)	△核心 永遠の未来を見た今日の選択 (II 列 2:9-11)	△散らされた弟子たち 必ず迎える未来を見た 弟子たち
<p>□序論_理由を分かれば正確な契約が見える。神様が持つておられる良い理由を発見してこそ最も強い力になる。</p> <p>1. 強大国 (覇権) - 王 レムナント 7 人と親は世界を掌握するという考えしかない強大国が完全にサタンに捕えられていることを分かった。神様が彼らを王の前に立てて王の前にある暗闇を砕かれた</p> <p>2. 弱小国 (迷信的偶像) - 強大国 (237-5000) 神様が理由を知っている人を強大国に送った。</p> <p>3. イスラエルわざわい (福音) イスラエルに 7 回わざわいが臨んだ理由を知っている人だけ大きな働きが起こった。創 3:15、出 3:18 をわかるので、神様が世界福音化する力を与えられたのだ。</p> <p>4. アハブ王 (世界化) - オバデヤ、アハブ王は世界化を間違っって悟って偶像国家として作った。オバデヤが理由を悟ったのだ。</p> <p>5. 中世教会 (教権) - ロマ 1:16-17、ハバ 2:4 教権に捕われて福音が完全になくなって、わざわいが臨んだ。その理由をルターが分かった。</p> <p>□本論</p> <p>1. 危機-最高の機会</p> <p>1) 100 人の預言者を隠した。</p> <p>2) 7000 弟子が隠されている。</p> <p>3) ドタンの町運動がこの人のゆえに起こった。</p> <p>2. 肉-永遠のこと</p> <p>オバデヤは肉のことを選択したのではない。皆さんは教会で永遠のことを選択しなさい。</p> <p>1) アハブ臣下</p> <p>2) エリヤ弟子 エリヤの弟子だ。世の中で重要なこと、教会で牧会をバックアップする弟子。</p> <p>3) カルメル山の戦闘を紹介した。永遠のことを選択したのだ。</p> <p>3. 最高の遺産</p> <p>1) アハブ政権を変えた。</p> <p>2) アラムの国に勝つ驚くべき答えに変えたのだ。</p> <p>3) 世界福音化が起こったのだ。重職者、産業人ひとりのゆえに</p> <p>△いつでも危機を選択しなさい。すると、正確な契約を握ることができる。永遠のこと、次世代を置いて残すことを選択しなさい。7 やぐら、旅程、道しるべを味わえば続けて答えは来るだろう。今、237、5000 種族にもすごく弟子が起きている。</p> <p>□結論_<u>ロマ 16 章</u></p> <p>1. 裏面契約のために仕事をして事業して商売をする。</p> <p>2. RM 次世代を生かさなければならぬ。それが皆さんが最も祝福を受ける理由だ。</p> <p>3. Holy Mason 光の経済が来るだろう。三つの庭を確かに準備すれば神様が皆さんに神殿をくださるだろう。メイソン戦争だ。</p>	<p>□序論_心 (考え) の目</p> <p>レムナントは常に心の目三つがあるべきだ。</p> <p>△詩 119:10 神様のみことばを心に入れなさい。その次に考えに入れるのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 隠れた弟子 (I 列 18:1-15) - 100 人の弟子</p> <p>1) いのちを持つている弟子はオバデヤが助けなくてもどこでも生き残る。</p> <p>2) いのちをかける弟子-いのちを持つていてこそ、いのちをかける弟子になる。</p> <p>3) いのちを生かす弟子-いのちを持つている者は、いのちをかける資格といのちを生かす時刻表を分ける。</p> <p>2. 残りの弟子 (I 列 19:1-21) - 7000 弟子</p> <p>1) カルメル山の奥義-霊的勝利から先にした。</p> <p>2) ホレブ山の奥義-これ以上できないと言ったエリヤに主の使いを送って力を与え、ホレブ山に到着した。</p> <p>3) エリヤとエリシャの奥義-最も大きな奥義は、エリヤがすべき働きとエリシャを話したのだ。</p> <p>3. 勝利する弟子 (II 列 6:8-23)</p> <p>- ドタンの町運動</p> <p>1) 神様が与えられる超能力 (II 列 2:9-11) を分ける者。霊の 2 倍の分をくださいと言った。次世代を育てる基準は、ラインと未来、ポジションに関心がない人だ。</p> <p>2) 天の軍勢を動員できる霊的力を持っている人だった</p> <p>3) 勝利-戦わずに完全勝利した。</p> <p>□結論_まことの弟子=絶対やぐら</p> <p>私が行くすべての所に絶対に揺れないまことの弟子一人を見つけて、絶対やぐらとして建てて出て来れば良い。人の話を聞いて導かれる人ではなく、神様のみことばで導かれる弟子でなければならない。なぜなら、世の中にいろいろなことがあって、いろいろなことがみな攻撃するからだ。</p>	<p>□序論</p> <p>1. <u>絶対やぐら</u>を先に作りなさい-味わう、待つ、挑戦</p> <p>その時刻表が来るように味わって待つのだ。神様の時刻表が来れば、挑戦するのだ。</p> <p>2. 5 つのことを先に分かるべき</p> <p>1) 7・7・7 祈りを呼吸集中して続けて味わいなさい。</p> <p>2) 3 集中-目が覚めたとき、寝る前に 5 分以上しなさい。屋にはあらゆる事を祈りに変えなさい。</p> <p>3) 3 セッティング-神様のことが編集されてプラットフォームになる。神様の計画が設計されて見張り台になる。神様のみこころが見えて、現場化、デザインされてアンテナとなる。</p> <p>4) 3 答え-問題の中に答えが、困難と葛藤の中に更新することが、危機の中に機会が見える。</p> <p>5) 絶対答えが来て、それで他の人を生かす絶対やぐらを作って出て来るのだ。</p> <p>3. 神様のことを選択するようになる。その人が真の弟子だ。私たちの今日は、永遠の未来を見た今日だ。</p> <p>□本論_これを見て、この (序論) 中にあるので選択が変わる。</p> <p>1. エリヤの選択</p> <p>1) I 列 18:1-15 オバデヤという弟子がいたので</p> <p>2) I 列 18:16-19:8 カルメル山の戦闘が起こるようになった。神様のことを選択したエリヤ。</p> <p>3) I 列 19:1-21 ホレブ山。祈りの中にいたのでエリヤが選択することはなかった。このことが世界を動かす鍵。</p> <p>2. エリシャの選択</p> <p>1) I 列 19:19-21 絶対やぐらを持つているから最も難しい時期に、最も重要な選択をしたエリシャ</p> <p>2) II 列 2:9-11 世界を動かす先生の霊の 2 倍を求めて選択した。</p> <p>3) II 列 6:8-24 結局、ドタンの町運動を行った。</p> <p>3. 重職者の選択</p> <p>1) オバデヤ 2) ツアレファテのやもめ 3) シュネムの女</p> <p>△力がなくても大丈夫だ。小さいわけだが、伝道する主のしもべを助けて、この契約が成就することに用いられるのは、最も大きな祝福になる。福音を止める者を助けるならばユダヤ人の子孫ようになる。</p> <p>□結論</p> <p><u>中心</u>を持つて、この答え (序論) があってこそ、<u>金土日</u>時代が開かれる。この契約があれば、本部と世界メッセージと講壇メッセージだけ握るのに流れが見える。私が何の祈りと伝道をすべきなのか流れが見える。</p> <p><u>三つの庭</u>の証人になることができる。</p> <p><u>黙想運動</u>、<u>霊性運動</u>の主役になりなさい。二つの生命線を回復しなさい。正しくなされた祈りで霊的生命線を見つけ出しなさい。正しくなされた呼吸でからだの生命線を見つけ出しなさい。</p>	<p>□序論 何の未来を見たのか</p> <p>1. 777 の生活 (ミッション) 確実なことを握ったこと</p> <p>2. 70 年イスラエル滅亡、79 年ポンペイわざわい、313 ローマがキリスト教国教宣言。確実な事件、使命を知っている。</p> <p>3. 流浪の民、ヨーロッパ教会時代。</p> <p>□本論</p> <p>エリヤ、エリシャ時代のとき、この人たちは、迎える未来を見たので揺れる理由がない。</p> <p>1. 偶像国家のわざわい</p> <p>見えないかたちと見えるかたち。見えないかたちがさらに恐ろしい。偶像国家の神殿政治は強大に見えるが、一つも力はない。</p> <p>2. 覇権国家の滅亡</p> <p>1) 戦争で滅亡</p> <p>2) 彼らが作り出したのが奴隷制度</p> <p>3) それゆえ、次世代に問題が来るしかない</p> <p>ただ福音だけが必要なのだ。</p> <p>3. 戦わずに勝つ弟子</p> <p>1) II 列 2:9-11 霊の 2 倍の分を私にください。(長子の権利)</p> <p>2) II 列 6:15 神様が天の軍勢を送られた。</p> <p>3) II 列 6:17-24 人の目を閉じて閉じて、働きが起こったのだ。</p> <p>□結論_未来に備えるべき</p> <p>1. みことば準備</p> <p>2. バビロン、強大国が証人になる。</p> <p>3. 強大国で 237-5000 現場が見えること</p>

△区域メッセージ第 15 週 御子イエスと永遠の答え(創 6:14)	△聖日 1 部 神が証人となる弟子(ロマ 1:1-10)	△聖日 2 部/237 宣教委員会献身礼拝 すべての人はキリストが必要(ロマ 3:10, 23)
<p>△創 6:14 箱舟の中に入った人はだれでも生きる。(キリストを象徴)</p> <p>□序論</p> <p>1. 40 日-やぐら、旅程、道しるべ キリストが 40 日間、語られた、その力を言う。世界を生かして、癒やされることができるやぐら、あちこちに絶対やぐらである道しるべを建てるのだ。</p> <p>2. 旧約、新約=キリスト キリストを送るということが旧約、キリストが来られたという証拠が新約だ。キリストでなければ運命を変えることはできず、わざわざ、地獄の権威、サタンの権威に勝つことはできない。</p> <p>3. 権威-私たちにキリストだけ与えられたのではなく権威も与えられた。イザ 7:14、マタ 1:19-23 「処女が身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ」ヨハ 14:14(創 3:15) 「わたしの名で祈りなさい」女の子孫(キリスト)が蛇の頭(サタンの権威)を打った。 使 3:6 「ナザレのイエス・キリストの名によって起きて歩きなさい」 使 16:16-18 イエス・キリストの御名で命じるので悪霊が直ちに出て行った。 ピリ 3:21 「万物をご自分に従わせることができる、その御名」 ヨハ 17:11-12 「イエスは主の御名」サタンはキリストの名前だけ恐れる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 三つの事件</p> <ol style="list-style-type: none"> エデンの園-あなたが神様ようになる。あなた自身が人生の主人だ。 今もネフィリム運動を Free Mason がしている。-ノアの洪水事件 間違ったことが集まって団結。バベルの塔が崩れたこと。 <p>2. 回復-滅亡の中にある私たちを救い出して、回復させる御名だ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 創 3:15 まことのエデン回復 創 6:14 まことのノア時代の契約を回復。箱舟を作りなさい。 創 12:1-3 わたしがあなたに示す地に行きなさい。あなたによって国々が祝福を受けるようにする。 <p>3. 大使-この事を行えるようにキリストの大使として私たちを呼ばれた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 霊的な王として呼ばれた。サタンの権威を打ち倒すことができる権限を与えられたのだ。 霊的な祭司-礼拝するたびにすべてののろい、わざわざは崩れる。 霊的な預言者-私たちが道を開くことができる。 <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> 定刻祈り-少しだけでも、ある日答えが来る。イエス・キリストの力だ 24, 25, 00 -そのまま祈りになる 24、じっとしているのに答えが見える 25、世の中を生かす力ができる永遠だ。 礼拝-このときから、ささげる礼拝はとても重要な時間になる。 	<p>□序論_神様が証人となる祈り</p> <p>△奴隷として行くのではなく、宣教しに行かなければならない。皆さんが宣教師として出て行くか、宣教師を助ければ、同じ宣教になるのだ ※世界を動かしたパウロの信仰-「神が証ししてくださることで、私は絶えずあなたがたのことを思い」神様に認められなければならない</p> <ol style="list-style-type: none"> 祈りは実際の科学-霊的状態が作られれば実際の答えが出て来る。 <ol style="list-style-type: none"> ヨセフ(創 41:38)-神の霊が宿る者 モーセ(出 3:10-12)-力の手であなたとともにいる サムエル(1 サム 3:19)-サムエルのことばを一つも地に落とされなかった。 ダビデ(1 サム 16:13)-この日以来、主の霊が激しく下った エリシャ(Ⅱ列 2:9)-先生の霊の 2 倍の分を私にください ダニエル(ダニ 6:16)-あなたがいつも仕えている神様があなたとともにおられるだろう。 パウロ(ロマ 1:9)-私が絶えずあなたがたのために祈るのに、神様が私の証人 △祈りは科学、天の御座が動くこと、サタンの権威を砕くこと、三位一体の神様が臨まれること。 祈りは霊的科学的 <ol style="list-style-type: none"> 神様のやぐらが植えられること 神様の旅程に行くこと 皆さんの職業が道しるべになること 祈りは暗闇の権威を打ち倒す権威科学 <ol style="list-style-type: none"> ローマも見なければならぬと契約を握ったパウロ(使 9:15-使 19:21) ローマで証ししなければならぬ(使 23:11) カエサルの前に立ちます(使 27:24) <p>△神の国が成し遂げられるように祈りなさい。それを待ちなさい。すると力を受けて地の果てまで行くようになるだろう。現場に行っただまされてはならない。</p> <p>□本論_24 奥義(昼夜なく祈り)</p> <ol style="list-style-type: none"> 礼拝のとき、7・7・7 やぐら、旅程、道しるべが刻印されるように祈り→一週間の答えが見える 3 集中-目を覚ましたとき、寝るとき、5 分以上祈り、昼に仕事に行く前に祈りで力を受けなさい。 3 セットティング <ol style="list-style-type: none"> 生かすしかないプラットフォーム(編集)作りなさい。 見張り台(設計)-神様の計画が入れば光になる。 世界と疎通するアンテナ(デザイン)を建てるのだ。 3 答え 1) 問題-答え 2) 葛藤-更新 3) 危機-機会 絶対答え 建てなさい <p>□結論_祈りの答えのまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> なぜキリストなのか-わざわざ、サタンの働き、地獄の権威を止めることができないため。 <ol style="list-style-type: none"> ロマ 1:3-4 肉ではダビデの子孫、霊では神様の息子 ロマ 1:7 最も必要な理由は恵み、結果は平安 真の王、預言者、祭司が必要 神様が私たちの見張り人 王、預言者、祭司の大使として立てられた。 	<p>義人はいない、一人もない。すべての人が罪を犯したので、神様を離れた。それゆえ、すべての人はただキリストが必要だ。</p> <p>□序論_キリストが与えられたことをすべき</p> <ol style="list-style-type: none"> 使 1:3、19:8 神の国のことを説明 <ol style="list-style-type: none"> 7・7・7 祈りのやぐら(礼拝の時、この祈り)-契約が握れるほど 3 集中(朝-力を受けてすべての征服開始、昼、夜) 3 セットティング(プラットフォーム作られれば成り立つ。実際的なやぐらが作られる) 3 答え(問題、葛藤、危機) 絶対答え-絶対やぐらを建てるようになる。 ヨハ 8:44 救い、恵みを受けられないようにだます悪魔 <ol style="list-style-type: none"> ユダヤ人 2) 宗教 3) 中世教会の嘘-違うことで救われるとだます <p>1. すべての人は全的墮落(創 3 章)</p> <p>2. 人間には救われることができる条件 x</p> <p>3. それゆえ、神様がキリストを与えられた。</p> <p>4. 救われる者、キリスト止めることはできない。</p> <p>5. 聖徒を滅亡させることはできない。神様が最後まで導き</p> <ol style="list-style-type: none"> これをわかった親、RT-契約だけ正確に握ればよい。 <ol style="list-style-type: none"> 創 37:11→41:38 ヤコブが心にとどめた→総理になったヨセフ(世界福音化) 出 2:1-10→5:1-12:46 契約を植えたモーセの母→イスラエル解放 1 サム 1:9-11→7:1-15 ナジル人の契約を握ったハンナ→サムエルのミツバ運動 1 サム 17:18→17:45-47 お使いに送ったエッサイ→ゴリヤテを倒したダビデ イザ 6:1-13→ダニ 1:8-9 イザヤが言った言葉をわかったダニエル→王 4 人 <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> だれも分からない問題-時空超越する霊的問題はただ福音だけで防げる <ol style="list-style-type: none"> 奴隷 2) 戦争 3) 捕虜 4) 属国 5) 流浪の民 だれも教えない生活 <ol style="list-style-type: none"> のろい <ol style="list-style-type: none"> 創 3、6、11 章落とす穴 (2) 使 13、16、19 章偶像の枠 6 種類の罫に運命をはめたこと 原罪-神様を離れたこと <ol style="list-style-type: none"> ヨハ 1:12 その御名を信じて受け入れ-神の子ども ロマ 8:2 いのちの聖霊の律法-罪と死の律法から解放 ロマ 5:8 罪人であったとき、キリストが死なれることによって 自犯罪 <ol style="list-style-type: none"> Ⅰヨハ 1:9 (2) 放蕩息子-父に帰ってきて悔い改めれば赦し だれもしないこと <ol style="list-style-type: none"> 使 1:3、19:8 神の国のこと(基準)、ピリ 3:20 御座で責任を負われる 三つの庭 <ol style="list-style-type: none"> 金土日時代-金(イエス・キリストの御名によって癒やし)、土(タラント)、日(みことばの流れ) <p>□結論_マタ 10:40-42 宣教師のために祈り=宣教に出て行くこと</p>